

健診結果判定基準値

2022年4月1日改定

注意：この健診結果判定一覧表は日本アイ・ビー・エム健康保険組合と(公財)パブリックヘルスリサーチセンターとの契約に基づき作成しています。
日本アイ・ビー・エム健康保険組合の健診判定時にのみご使用ください。また、無断で複写・転用することを禁止します。

項目			A(異常なし)	B(要生活習慣改善/経過観察)	C(要再検3ヶ月以内)	D(要精密検査)	E(要治療)	
身体測定	BMI		18.5以上24.9以下	18.4以下または25.0以上	なし	一方でも0.6以下		
	腹囲	男性	84.9以下	85.0以上				
		女性	89.9以下	90.0以上				
視力	視力(5m、50cm)		悪い方の目が1.0以上	悪い方が0.7-0.9				
聴力	聴力(1000Hz、4000Hz)		30dB以下 (雇入以外4000Hz40dB以下)			40dB以上 (雇入以外4000Hz40dB超) または低下1つ以上		
尿検査	尿蛋白		(-)	(±)	(+)	(2+)以上		
血圧	最高血圧		129以下	130以上139以下	140以上159以下		160以上	
	最低血圧		84以下	85以上89以下	90以上99以下		100以上	
貧血検査	赤血球(RBC)	男性	427以上570以下	400以上426以下または571以上600以下		399以下または601以上		
		女性	376以上500以下	350以上375以下または501以上550以下		349以下または551以上		
	血色素量 (ヘモグロビン)	男性	13.1以上16.3以下	16.4以上18.0以下		12.1以上13.0以下		12.0以下または18.1以上
		女性	12.1以上14.5以下	14.6以上16.0以下		11.1以上12.0以下		11.0以下または16.1以上
肝機能検査	AST(GOT)		30以下	31以上35以下	36以上50以下	51以上		
	ALT(GPT)		30以下	31以上40以下	41以上50以下	51以上		
	γ-GT(γ-GTP)		50以下	51以上80以下	81以上100以下	101以上		
血中脂質検査	HDL-コレステロール		40以上	35以上39以下	なし	34以下		
	LDL-コレステロール		119以下	120以上139以下	140以上179以下	180以上		
	中性脂肪		149以下	150以上299以下	300以上499以下	500以上		
糖代謝検査	空腹時血糖		99以下	100以上109以下	110以上125以下	126以上		
	随時血糖		70以上139以下	60以上69以下	50以上59以下 140以上199以下	49以下 200以上		
	HbA1c(NGSP)		4.6以上5.5以下	5.6以上6.4以下		4.5以下または6.5以上6.9以下		7.0以上
	尿糖		(-)	(±)以上	なし	なし		
腎機能検査	血清クレアチニン	男性	1.00以下	1.01以上1.09以下	1.10以上1.29以下	1.30以上		
		女性	0.70以下	0.71以上0.79以下	0.80以上0.99以下	1.00以上		
	eGFR		60.0以上		45.0以上59.9以下	44.9以下		
尿酸	尿酸		2.1以上7.0以下	7.1以上7.9以下	2.0以下、8.0以上8.9以下		9.0以上	

健診結果判定基準値

2022年4月1日改定

注意：この健診結果判定一覧表は日本アイ・ビー・エム健康保険組合と(公財)パブリックヘルスリサーチセンターとの契約に基づき作成しています。日本アイ・ビー・エム健康保険組合の健診判定時にのみご使用ください。また、無断で複写・転用することを禁止します。

項目		A(異常なし)	B(要生活習慣改善/経過観察)	C(要再検3ヶ月以内)	D(要精密検査)	E(要治療)	
前立腺がん検診	PSA検査	4.000以下	今回4.001以上5.300以下かつ 前回値が4.001以上5.300以下の場合		4.001以上 (ただし前回値が4.001~5.300 の場合は判定C1)		
大腸がん検診	便潜血検査2日法	(-)			いずれか(+)		
胃がんリスクスクリーニング検査 (ABC検診)	H.ピロリ菌 ペプシノゲン	A群			B群		C群
子宮がん検診	子宮頸部 細胞診	NILM					ASC-US ASC-H LSIL HSIL SCC AGC AIS Adeno-carcinoma other malig
	子宮頸部細胞診 + HPV検査	子宮頸部細胞診 NILM かつ HPV (-)					子宮頸部細胞診 NILM かつ HPV (+) または 子宮頸部細胞診 ASC-US かつ HPV (-)
乳がん検診	マンモグラフィ	カテゴリー1 カテゴリー2			カテゴリー3~5		
肺がん検診	喀痰細胞診	class I class II			class III、class III a、class III b、 class IV、class V		

《IBM判定の重みづけ》 E>D>C>H1>H2>H>B>A

注1) 視力判定 : 低い方の測定値で判定する

注2) 聴力判定 : 低下がひとつでもあればGとする

注3) 既往歴で治療中がある場合は以下の判定を用いる【対象項目: 血圧、尿検査、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、糖代謝検査、腎機能、尿酸、前立腺がん検診】

H: 要治療継続(コントロール良好)・・・対象項目がIBM判定のA・Bに該当する値の場合

H1: 要治療継続(コントロール不良)・・・対象項目がIBM判定のC・D・Eに該当する値の場合

H2: 要治療継続・・・診察所見、読影所見(胸部X線・胃部X線・胃部内視鏡・心電図・腹部超音波・乳腺超音波・マンモグラフィ)の項目で、健診結果のみではコントロール状況の判断がつかない場合

2022年4月の変更点

身体測定	判定C(要再検3ヶ月以内)が判定B(要生活習慣改善/経過観察)に含まれ、基準化緩和されました。
視力	両眼での判定から、悪い方の眼の判定になり、基準が厳しくなりました。
血圧	最高血圧の判定E(要治療)の基準が緩和されました。
貧血検査	血色素の判定A(異常なし)の基準が厳しくなりました。
肝機能	判定B(要生活習慣改善/経過観察)の基準が厳しくなりました。低値での判定が削除されました。
脂質	HDLコレステロールの判定C(要再検3ヶ月以内)は、判定D(要精密検査)に含まれました。 LDLコレステロールの判定E(要治療)は緩和されました。 中性脂肪の判定E(要治療)は緩和されました。
尿酸	低値での判定が追加されました。